



平成23年度 千代田岳精会 教場組織図

会長  
鈴木 龍成

副会長  
山口 隆風 (筆頭)  
(兼・業務推進委員長)

菅原 龍琴  
(兼・女子部部长)

菅原 克風  
(兼・事業部門リーダー)

菊地 駿風  
(兼・経理部門リーダー)

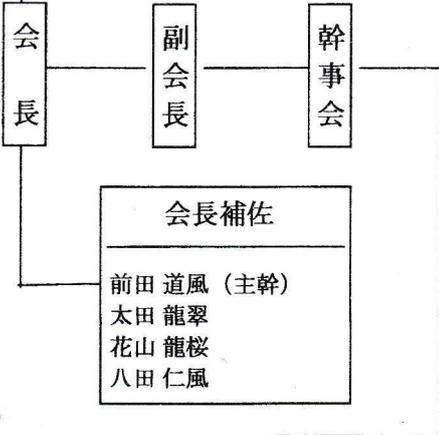
酒井 帆風  
(兼・総務部門リーダー)

徳本 順風  
(兼・許証部門リーダー)

最高顧問  
飯田 精鷹

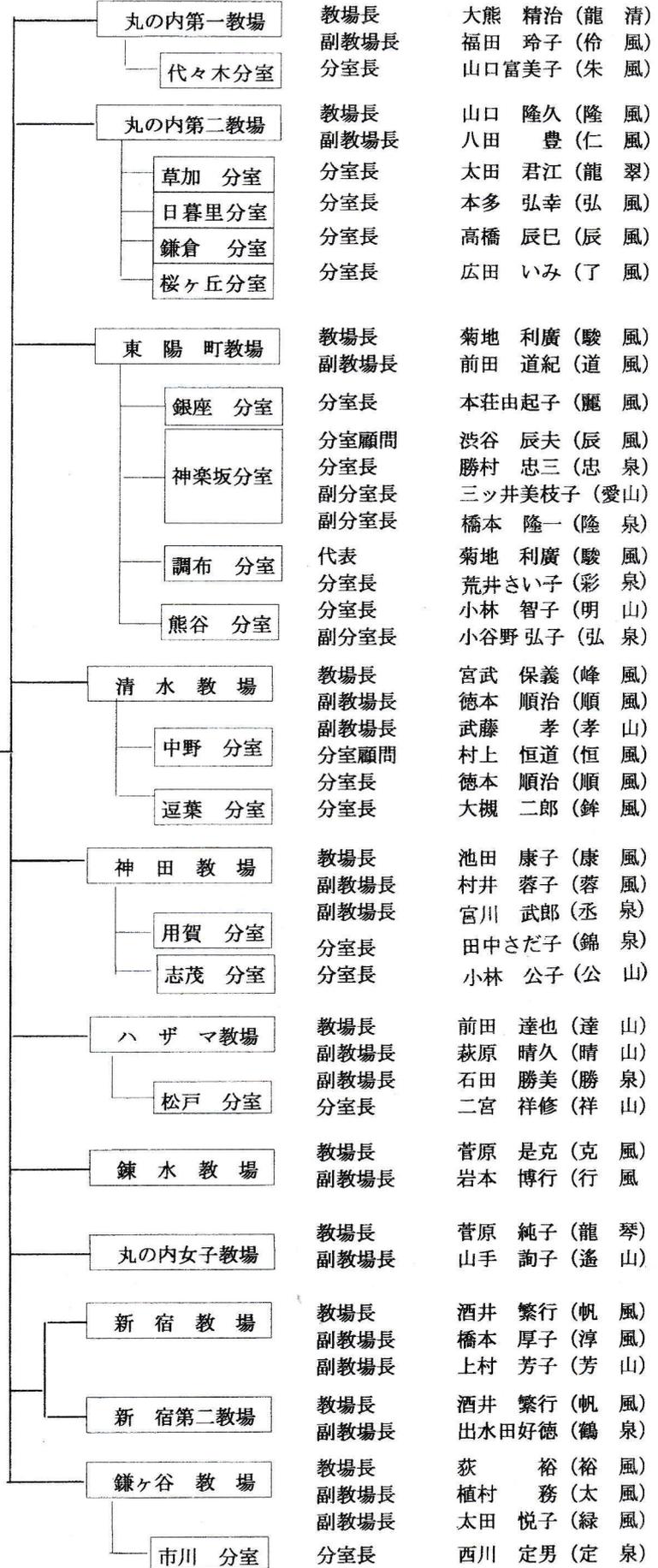
常任顧問  
磯田 精信  
岩崎 龍慶  
吉川 龍鐘  
林 龍吾  
村上 恒風

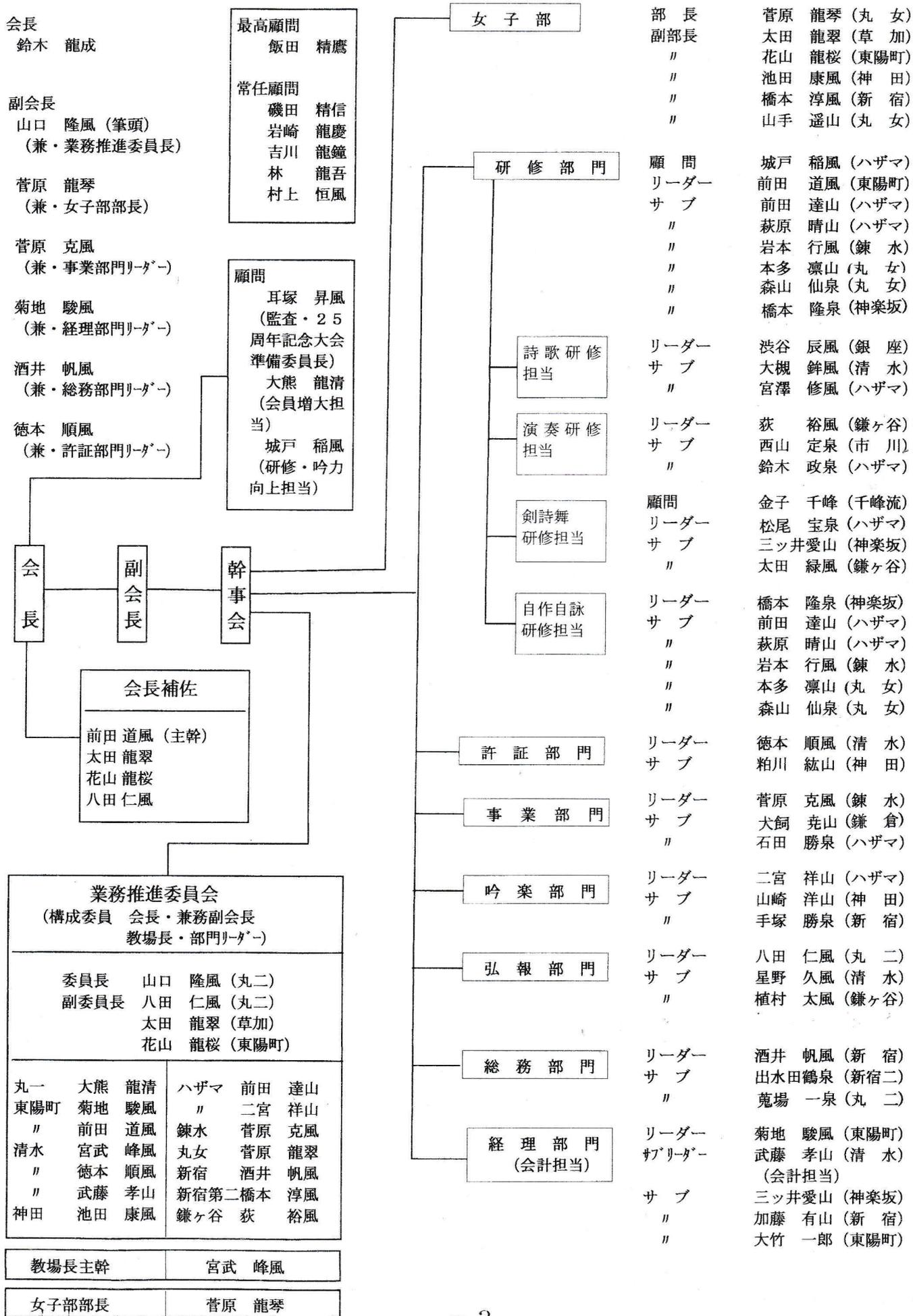
顧問  
耳塚 昇風  
(監査・25周年記念大会準備委員長)  
大熊 龍清  
(会員増大担当)  
城戸 稲風  
(研修・吟力向上担当)



業務推進委員会 (構成委員 会長・業務副会長 教場長・部門リーダー)			
委員長 山口 隆風 (丸二)		副委員長 八田 仁風 (丸二)	
太田 龍翠 (草加)		花山 龍桜 (東陽町)	
丸一	大熊 龍清	ハザマ	前田 達山
東陽町	菊地 駿風	〃	二宮 祥山
〃	前田 道風	錬水	菅原 克風
清水	宮武 峰風	丸女	菅原 龍翠
〃	徳本 順風	新宿	酒井 帆風
〃	武藤 孝山	新宿第二	橋本 淳風
神田	池田 康風	鎌ヶ谷	萩 裕風

教場長主幹	宮武 峰風
女子部部长	菅原 龍琴











て、いま。いつも途中からの参加で、助  
が、頂いておられます。アドバイスを受け  
けて、頂いておられます。最初の疑問に今でも  
理解出来なない奥深さを感じています。  
ありなかな、仕事との両立が難しい時も  
を、楽しみたいと思っております。皆様と吟  
を、今後もご指導ご鞭撻の程、宜しく  
お願いいたします。

雅号をいただいて  
丸の内第二 菟場 一泉

初伝審査を受けた四月廿四日は忘れ  
られ、吟へと導いて頂いた。審査会場は  
私、詩吟の長として建築された高橋辰風大  
先、環境の美しい庭園を目の前に、新緑に包  
まれ、格別、雅号をいただき、初伝審査  
に合格し、出、即、入会を決意しました。  
話を聞き、社、即、入会を決意しました。  
実は、親父が晩年、詩吟を吟じていたの  
や、ついでに、親父への思いも重なり、  
その、早い、港、区、で、四、年、が、経、ち、ま、し、た、  
等、への、出、場、機、会、を、い、た、だ、き、武、道、館、全、国、大、会  
を、さ、せ、て、頂、き、ま、し、た、こ、こ、ま、で、来、り、ま、し、た、  
諸、先、輩、方、の、岩、崎、先、生、の、賜、物、と、深、く、感、謝、を  
申、し、上、げ、ま、す、ご、指、導、の、賜、物、と、深、く、感、謝、を  
友、を、大、切、に、し、ま、す、雅、号、に、恥、じ、な、い、よ、う、に、精、神  
を、忘、れ、る、こ、と、な、く、真、善、美、の、友、と  
ご、指、導、の、ほ、ど、お、願、い、致、し、ま、す、今、後、と、も

声を磨く

新宿 後藤 悠泉

吟の楽しさを求めて数年間、教場に通  
つてきたが、この度の生活態度に変化を  
対する姿勢と日常の生活態度に変化を  
もたらす節目に思っている。また、東  
日本大震災の年に雅号を頂いたことも  
生涯記憶に残る事である。「雅号」  
とは、「風流な別名」と辞書にあるが、  
私の吟はまだ駆け出しの域を出ず、風流  
とは到底言えない状態と認識している。  
それは、底言えないう先輩の独吟を拝聴し  
て常に感じる吟の何らかの質的進歩  
機会に自分の吟詠に何らかの質的進歩  
を遂げる。具体的には、背筋をピンと  
伸ばす姿勢の大切さを常に意識し、決  
て上手く詠じようとする。強さでなく、精  
力ある声を磨き安定した強い声で詠  
切ることを心がけた。その声で、岳精  
流の指導に従った。詩情を理解して表  
現する言葉に込められた言葉の正しさを  
詠する。ことにも忘れたが、楽しい道のり  
思っている。奥深い世界に導いて下さる、教  
場の仲間と励まし合ひ、指導に感激しつ、健  
康維持増進を確信して吟を続けたい。

雅号「泉」をいただいて  
神田副委員長 宮川 丞泉

この度、雅号「泉」を頂戴いたしま  
した。これ、偏に、林先生、池田先生を始  
めとする諸先生、諸先輩方のご指導に  
よるものと感謝して、三年半、吟の難し  
さや、

つと少し分りかけてきたように感ず  
る。今日この頃です。基礎を確りと、発声  
に重点を置いた練習をしてまいりまし  
た。が、美しく響く声を出すことがな  
なかりできません。どこから出るかは  
分りませんが、これからは、力向上  
聴き栄えの吟が、できるような精進  
指導ご鞭撻くださいます。従前、増進  
願ひ申し上げます。

初伝審査を終えて  
新宿第二 濱口 顕泉

新緑に輝く東郷記念館の庭園を望む  
会場、程よい緊張感のもと、初伝審査  
を受け、経過したが、この間、音感並  
年の時が経つた。その上、西国生まれの  
びに、声量の無さ、矯正が、ま、な、ら、ず、  
ため、ア、ク、セ、ン、ト、の、矯、正、が、ま、な、ら、ず、  
た、ま、ア、ク、セ、ン、ト、の、矯、正、が、ま、な、ら、ず、  
何、時、ま、ア、ク、セ、ン、ト、の、矯、正、が、ま、な、ら、ず、  
々、不、安、な、漢、詩、の、魅、力、に、触、れ、る、と、表、現、  
の、日、か、作、者、の、詩、情、を、自、分、な、り、と、表、現、  
つ、た、ら、と、の、想、い、が、フ、ツ、フ、ツ、と、湧、き、上、  
き、た、ら、と、の、想、い、が、フ、ツ、フ、ツ、と、湧、き、上、  
契、機、に、過、去、を、省、み、て、吟、詠、の、基、本、に、立  
ち、返、り、正、し、い、発、声、音、程、ア、ク、セ、ン  
ト、母、音、へ、の、切、り、組、ん、で、い、き、た、い、と、思、  
て、い、る。今日「顕泉」の雅号を認許されたの  
も、この「酒井・寛容」の橋本両先生のお陰  
だ、と、深く感謝している。また、お陰  
は、一、行、く、の、が、楽、し、み、と、い、う、た、千、代、田、の  
吟、ず、る、の、が、楽、し、み、と、い、う、た、千、代、田、の





それらを頭に入れながら吟じたのが評価されたのでは：と思っております。今後は「真、善、美」を心に吟の修得に一生懸命精進を重ねて参る所存です。先生方のますますのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

品川区吟詠コンクールに入賞して  
新宿 坂下 光夫

先般行なわれまして品川区吟詠コンクールの予選一般三部に初めて参加し、王守仁作の「山中諸生に示す」(その五)を吟じましたが、思いもかけず八位で入賞することが出来ました。吟歴が一年にも満たない私が入賞することなど予測された方は、当然のことながらだれ一人もおられなかつたことと思えます。勿論自分でも参加することに意義があると、気持ちでした。このようない私が入賞の荣誉に浴することができたのは、言うまでもなく、所属する新宿教場の酒井帆風教場長や橋本淳風副教場長の心のこもった、且つ懇切丁寧なご指導と、周囲で温かく応援して下さった諸先輩のお陰ですが、更に少ない機会ではありましたが、私のような新人に判りやすくご指導下さった鈴木会長、及び磯田精信先生に心から感謝申し上げます。東日本震災の影響で中止になり、鈴木会長から「残念だったね」と声をかけて頂きましたが、二匹目のドジョウが捕まるわけもなく、内心ではホッとしています。皆様の後、閑話休題、この荣誉を励みにして今方のご指導宜しくお願ひします。

### 熊谷分室(東陽町教場)開設

千代田廿六番目の拠点熊谷分室が、三月十一日開設された。当日は鈴木会長、磯田精信常任顧問をはじめ多数の吟友が発会セレモニーに参加され、その最中に東日本大地震が発生という忘れられない日となった。

開催日 熊谷市宮前町一丁目二四一  
毎月第二・第四金曜日  
午後一時三〇分～三時三〇分  
指導体制 吟指導 小林明山分室長  
伴奏 小谷野弘泉副分室長

東陽町教場から毎回一名が支援として派遣されます。  
(菊地教場長、花山龍桜、渋谷辰風) アクセス JR 熊谷駅下車徒歩八分

千代田から最遠の新天地の教場、新会員九名が入会、総数十一名でスタート、小林分室長の地元での人望が窺われます。

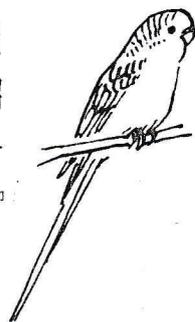
### 開設のご挨拶

熊谷分室長 小林 明山

この度、熊谷分室を開設いたしました。菊地教場長をはじめ諸先生にひとかたならずお世話になり、深く感謝申し上げます。宗家からは「大切な心を吟じよう」と書かれた色紙を戴きました。

三月十一日、会場に花も飾りお祝い駆けつけて下さった先生方十五名と新会員九名を合わせ総勢二六名で開設式典が始まりました。終わりに近く磯田先生の吟詠新体詩「つりがね草」

最中、あの恐ろしい大地震が起りましたが、その中で朗々と吟じ続けられ、続いて鈴木会長の力強い吟に皆も落着きを取り戻し無事終了しました。交通機関は全て止まり、ホテルも満杯で皆さんを拙宅へご案内しましたが、続く震災報道に息を呑む一夜でした。このような日に船出した教室。九人の新会員さんは皆驚くほどの情熱で吟じて下さっています。吟友の輪を広げ、楽しく有意義な教室にしたいと願っています。私も一歩一歩努力して行きたいと思えます。今後とも諸先生方、ご指導宜しくお願いします。



### 「新会員紹介」

◇丸の内第二教場  
長谷場 純一氏(三月入会)

高校の先輩永長隆泉さんの紹介で三月から入会させて頂くことになりました。生まれも育ちも九州鹿児島です。また吟詠は全くの未経験であります。当面は近くの鎌倉分室で学びたいと考えております。

近藤 まき子さん(三月入会)  
元上司の権藤紘一氏の勧めで見学に訪れ、山口教場長もまた元上司のご縁で即入会となりました。直後の大地震で教室は休みでしたが、再開後元気に出席されています。明るい

性格の期待の女子会員です。  
◇丸の内第二教場日暮里分室  
佐藤松夫氏(二月入会)

分室長のご近所の方、分室長宅の外壁に貼ってある詩吟会員募集のちらしを見て、子供の頃父親がやってきたの思い出し懐かしく自分も習ってみたいと思っただけで、調理学師で教場の日は休みをとり易いと前向きにのぞんでくれています。

吉田節子さん(四月入会)  
テレビで詩吟に興味を持ち、親戚の田尻映泉さんの紹介で入会、何事にも積極的な性格で昇伝審査も見学、春の吟行会にも申し込まれました。分室に活気をもたらし、分室に期待の大きな新人さんです。

風戸善展氏(五月入会)  
元商社マン、現在は悠々自適の生活の方です。分室長の店子の居酒屋の常連のお客様、本多凜山さんの熱心なお勧めで入会されました。意欲満々、今後が楽しみです。

酒井英時氏(一月入会)  
某大手商社のOB、世界を股にかける活躍された猛者。最近声の出が、おかしな詩吟が良いのではと奥様が電話案内で調べ、鈴木会長へ電話され、鎌倉へ入会されました。どうしてどうして太くいい声です。地震の日も揺れる中を参加されました。

藤谷初男氏(二月入会)  
北海道奥尻島の生まれ、海の事、魚の事ならどんと来い。若い頃他流で鍛えた声は素人離れ、暫くの中断も何のその、昇伝審査で堂々と披露され、意欲溢れる復活に期待大です。鎌倉市内の自営業も頑張っています。

◇丸の内第二教場桜ヶ丘分室  
石田成司氏(一月入会)  
定年退職後スナックのマスターで教室の大家さん。趣味のカラオケに詩吟を加えていただき、エンジョイされています。

福井スミ子さん(一月入会)  
福井商事の現役の役員さんです。趣味のビーズフラワーは二〇年のキヤリアで、二年に一回銀座で展示会をされる程の見事な腕前です。なんと、発会の日コンダクターの購入を申し込まれた意欲のある方です。

藤村恵子さん(一月入会)  
樺島病院で看護師長をされている現役のバリバリ！詩吟にもやる気充分で、研修会にも積極的に参加されています。昇伝審査でも堂々と吟じられます。

武藤弘子さん(一月入会)  
分室長とは三五年來のお付き合い仕事を手伝ってもらうこともしばしば、お住まいの浦和から楽しく通って下さっています。昇伝審査も見事合格、これから楽しみな方です。

柳田きよ子さん(一月入会)  
教室のスナックにお勤め、カラオケが抜群に上手で、音感が素晴らしい。詩吟での前途が楽しみです。

◇東陽町教場  
宮崎富士夫氏(十二月入会)  
一退職後の数年を無事に過ごせば、八〇歳前半までは大丈夫。それなら、ごろ寝とテレビ漬けだけの毎日なら、い、もっと増しな老後を求めていた折、偶々、酒席で大竹一郎さんから詩吟の楽しさ、素晴らしさをお聞きし、音感零人間の七〇歳からの無謀な試みを決意しまして入会をお願い

◇東陽町教場神楽坂分室  
西村榮雄氏(二月入会)  
六〇の手習いと言いますが、八〇になつて詩吟を勉強することにになりました。宜しくお願ひ致します。

◇東陽町教場熊谷分室  
奥野昭子さん(三月入会)  
数年前、浅草公会堂で初めて詩吟というものを拝聴し、皆様方の迫力ある吟詠に感動いたしました。今回熊谷分室の開設にあたり、小林明山先生からお誘いを受け、詩吟に對して未知な私ですが、先生は漢詩に節をつけて読めばいいのよと言われて会員になりました。どうぞ宜しくお願ひ致します。

折川たか子さん(三月入会)  
「健康維持に何をしようか？」選択肢が開くとお聞きし、即、入会させて頂きました。腹式呼吸でないと声が続きません。「健康の基」は詩吟だと、若さを保つために、伝統文化に触れながら、愉しんで行こうと思ひます。

金子信子さん(三月入会)  
熊谷市在住、本当に未知の世界でついでに行けるのか不安ですが、大きい声を出すと、お腹が空き夕食の美味しいこと。まだこの程度ですが早く受講が楽しみになるよう、前向きに吟じていきますよう。

小島初江さん(三月入会)  
前から興味がありまして頂きました。どこ

根岸が、まで出来るようにならな  
日頃親しくお付き合ひさして頂  
ており入会を決意しました。吟じられ  
るようにならな  
とで入会を決意しました。吟じられ  
るようにならな  
とで入会を決意しました。吟じられ  
るようにならな

和栗美子さん(三月入会)  
えが、カオケ嫌いな歌うの嫌いな、物  
という別世界に入り、上手くなりた  
いと、揺れに揺れた発会式、誰も忘  
れえぬ、そして揺るがぬ熊谷分室  
の基盤を築けと言う思召しと思  
頑張って続けたいと思ひます。

兼杉典子さん(三月入会)  
欠席する事のないよう心掛けま  
大藤征子さん(三月入会)  
詩吟の世界に、一步踏み込みまし  
発会式の最中の地震にも堂々と詠  
諸先生の潔い姿に感動したから  
真面目に励み、将来は自作の詩が  
詠出されるようになりたいと思

山上典子さん(三月入会)  
開設式典の最中に東日本大震災の  
れにあい、思ひ出深い一日となり  
した。詩吟も私の趣味の一日とな  
よう。これからの頑張っていきま  
と。思ひます。宜しくお願ひ致し

竹下賢二氏(二月入会)  
宮川承泉さん(二月入会)  
腹から声を出せるよう頑張りた  
決意し、教室を見学に来、即入  
した。お世話をやる事、即入  
した。お世話をやる事、即入  
した。お世話をやる事、即入

高桑敏生氏(二月入会)  
丸の内女子教場  
腹から声を出したいと思  
った。ある時、ラジオで詩吟を  
した。お世話をやる事、即入  
した。お世話をやる事、即入

二反田幸氏(四月入会)  
お誘いがありません。見学の熱心  
道、ゴルフ等を楽しみ、現在私  
が、特に剣道を生涯スポーツと考  
ております。入会させて頂きたい  
道が、どんなものか一切判りませ  
何かが、幸いと思つてお見せ  
れは、幸いと思つてお見せ  
続きの宜しくご指導願ひします。

宮永明彦氏(五月入会)  
友会の新年会でハザマの卒業生  
の詩吟を聴き、感激しました。カ  
ケが、好きで、退職後は声を出  
すことも少なく、健康にはやが  
詩吟をやることが、健康にはや  
思入会しました。健康にはや  
達のように、独吟出来るよう頑  
いと、思ひます。健康にはや

月から皆様の暖かいお心遣いを頂  
ながら、岳精流の吟を学んでいま  
吟の趣を肩の力を抜いて表現でき  
よう努力します。おへその下に力  
入れるコソをつかむと、ゴルフも  
手くいきそうです。

二反田幸氏(四月入会)  
お誘いがありません。見学の熱心  
道、ゴルフ等を楽しみ、現在私  
が、特に剣道を生涯スポーツと考  
ております。入会させて頂きたい  
道が、どんなものか一切判りませ  
何かが、幸いと思つてお見せ  
れは、幸いと思つてお見せ  
続きの宜しくご指導願ひします。

宮永明彦氏(五月入会)  
友会の新年会でハザマの卒業生  
の詩吟を聴き、感激しました。カ  
ケが、好きで、退職後は声を出  
すことも少なく、健康にはやが  
詩吟をやることが、健康にはや  
思入会しました。健康にはや  
達のように、独吟出来るよう頑  
いと、思ひます。健康にはや

高桑敏生氏(二月入会)  
丸の内女子教場  
腹から声を出したいと思  
った。ある時、ラジオで詩吟を  
した。お世話をやる事、即入  
した。お世話をやる事、即入

竹下賢二氏(二月入会)  
宮川承泉さん(二月入会)  
腹から声を出せるよう頑張りた  
決意し、教室を見学に来、即入  
した。お世話をやる事、即入  
した。お世話をやる事、即入

山上典子さん(三月入会)  
開設式典の最中に東日本大震災の  
れにあい、思ひ出深い一日となり  
した。詩吟も私の趣味の一日とな  
よう。これからの頑張っていきま  
と。思ひます。宜しくお願ひ致し

兼杉典子さん(三月入会)  
欠席する事のないよう心掛けま  
大藤征子さん(三月入会)  
詩吟の世界に、一步踏み込みまし  
発会式の最中の地震にも堂々と詠  
諸先生の潔い姿に感動したから  
真面目に励み、将来は自作の詩が  
詠出されるようになりたいと思

松田好泉氏(清水教場)  
平成廿三年四月廿五日ご逝去  
されました。享年七〇歳。弘報部門  
サブリールとして活躍されま  
した。ご冥福をお祈りいたします。



編後記

三月十一日、何十年、日本が  
た生活が、突然消滅してしま  
家を失った被災者には、ど  
慰めに、静かなる技術を生  
原発の事故が、静かなる福  
集めて、復た静かなる福  
の回復を、静かなる福  
中、最後まで、静かなる福  
全員、最後まで、静かなる福  
ス、乗継いで、静かなる福  
停電で、静かなる福  
街は、静かなる福  
校、静かなる福  
員、静かなる福  
自、静かなる福  
大、静かなる福  
る、静かなる福  
し、静かなる福  
い、静かなる福  
一、静かなる福  
さ、静かなる福  
逝、静かなる福